

## 令和6年度 重層的支援体制整備事業の取組実績

## 1 目的

社会状況の変化により、多様化する福祉課題に対応していくため、単独の相談支援機関では対応が困難である複雑化・複合化した課題を抱える者及びその者の属する世帯に対して、地域資源の活用も含め、多機関の協働による包括的な支援体制を整備することにより、相談者等の自立を促進することを目的とする。

## 2 事業内容

## (1) 相談者等に対する支援の実施

相談者等が抱える課題の把握及び支援プランの作成

相談支援機関等との連絡調整

相談支援機関等による支援の実施状況の把握及び指導・助言

その他相談者等の自立を支援する上で必要な支援の実施

## (2) 包括的相談支援ネットワークの構築

## (3) 重層的支援会議の開催

(4) その他地域における困窮者等の早期把握、支援に必要な地域づくりも含めた、  
包括的相談支援ネットワークの構築を図るために必要となる事業の実施

## 3 実施体制

相談支援包括化推進員 2名、コミュニティソーシャルワーカー 4名

## 4 取組内容

## ① 制度説明会

対象団体	地区民生委員児童委員協議会、地域づくり協議会、自治会
実施回数及び人数	34回、合計 620名
実施概要	個人や世帯が抱える課題を一番身近に把握している地域関係者に対し、制度の説明を実施した。 重層的支援体制の概要及び「くらしサポートセンター」などの相談窓口を周知した。

## ② 支援会議

実施回数	3回
世帯区分	単身高齢者世帯
	親族と同居する世帯
	一人親世帯
実施内容	多機関協働事業が対象とする複合的な課題を持つ世帯や複数の支援機関が支援介入に苦慮している世帯等について、支援機関間での情報共有、課題整理、支援方針の検討を行った。

③ 多機関連携会議

実施回数	9回
構成機関	公共職業安定所、社会福祉協議会、障がい者総合相談支援センターあい、子ども政策課、子ども家庭支援課、長寿社会課、障がい福祉課、住宅政策課、健康福祉政策課
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース検討、事例研究</li> <li>・情報共有、課題検討</li> <li>・講演会の聴講</li> </ul> <p>重層的支援体制整備事業における相談支援を担う包括的相談支援事業者（子ども・高齢・障がい・困窮）を中心に、関係機関との横の連携強化を目的としたケース検討を実施した。</p>

④ アウトリーチ事業

実施件数	111件			
性別	男性	女性	不明	
	64件	46件	1件	
年齢	未成年	20～64歳	高齢者	不明
	6件	69件	34件	2件
実施内容	コミュニティソーシャルワーカーが、窓口に来ることが困難な方や見守り等の継続的な関わりが必要な世帯等に対して、アウトリーチを実施し、生活課題を把握するとともに、必要な支援につなげる取組を行った。			

⑤ 地域づくり事業

場所	鈴鹿ハンターショッピングセンター		
月日	3月29日（土）		
相談件数	3件		
実施内容	地域における相談支援ニーズを把握するため、既存の地域資源と連携し、商業施設内に試行的な相談窓口を開設した。		

⑥ 参加支援事業

実施件数	6件		
世帯区分	高齢者を含む世帯	2件	
	一人親世帯	1件	
	高齢夫婦2人世帯	1件	
	交流の場を求める高齢者等	2件	
実施内容	相談対応の中で、地域との関わりを希望する声や、その必要性が認められた方や世帯に対して、サロン等の地域活動の情報提供を行い、必要に応じて同行支援を実施した。		